

平成22年10月8日

商工部新産業・技術振興課
(福岡水素エネルギー戦略会議 事務局)
内線 3737
直通 092-643-3448
担当 平野

福岡水素戦略 ^{ハイ ライフ} (Hy-Lifeプロジェクト)
社会実証 「水素ハイウェイ」

燃料電池電気自動車「ホンダFCXクラリティ」の導入 ～技術説明、納車式、試乗会の開催～

- 福岡県と福岡水素エネルギー戦略会議^{※1}では、環境にやさしい水素エネルギー^{※3}社会を実現するため、①九州大学を中核とした世界最先端の研究開発、②「福岡水素タウン」を始めとした社会実証、③全国唯一の水素人材育成、④「水素先端世界フォーラム」等の開催を通じた世界最先端の水素情報拠点の構築、⑤「水素エネルギー製品研究試験センター」を核とした水素エネルギー新産業の育成・集積を総合的に実施する『福岡水素戦略 (Hy-Lifeプロジェクト) ^{※2}』を展開しています。
- 社会実証では、北九州と福岡の2カ所に「水素ステーション^{※4}」を整備し、次世代自動車として期待される燃料電池電気自動車等の走行を可能とする「水素ハイウェイ^{※5}」を推進しています。
- 県では、「水素ハイウェイ」の一環として、平成21年4月の燃料電池電気自動車導入に続き、本田技研工業(株)の燃料電池電気自動車「ホンダFCXクラリティ」を公用車として導入します。本車両は、関東圏以外及び地方自治体への導入は初めてとなり、水素エネルギー・燃料電池に対する福岡の熱意が高く評価されたものです。
- 納車式は10月15日(金)に福岡県庁行政棟南側玄関において開催します。当日は、当初から燃料電池電気自動車の開発に携わり、第一人者である(株)本田技術研究所の藤本 幸人(ふじもと さちと)上席研究員より技術説明を行っていただくほか、マスコミ関係者を対象とする同乗試乗会を開催いたします。
- 福岡県と福岡水素エネルギー戦略会議では、先進的な社会実証を初めとする「福岡水素戦略」を強力に推進することで、水素家庭用燃料電池、燃料電池電気自動車の開発、普及を促進し、低炭素社会を世界に先駆けて実現します。

※ 納車についての報道は、納車式開催まで差し控えていただきますようお願いいたします。

※1：福岡水素エネルギー戦略会議

水素の製造、輸送・貯蔵から利用までの一貫した研究開発や社会実証、全国唯一の人材育成などに取り組む全国最大の産学官連携組織（2004年8月発足）。

2010年9月末現在、607企業・機関が会員として参加。

会長は、新日本製鐵株式会社 黒木啓介（くろき けいすけ）代表取締役副社長

※2：福岡水素戦略（Hy-Life プロジェクト）

「研究開発」「社会実証」「水素人材育成」「世界最先端の水素情報拠点の構築」「水素エネルギー新産業の育成・集積」を柱とした福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議のプロジェクト。

※3：水素エネルギー

「水素」と「酸素」を反応して得られるエネルギー。

生成物は「水」のみで、利用段階で二酸化炭素を全く発生しないことから、地球温暖化対策の切り札として期待。

※4：水素ステーション

独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施中の「水素・燃料電池実証プロジェクト（JHFCプロジェクト）」において実証を行っている。現在、15ステーションが実証運転中。

「JHFCプロジェクト」とは、経済産業省が実施する燃料電池システム等実証試験研究補助事業に含まれる「燃料電池自動車等実証研究」と「水素インフラ等実証研究」から構成されるプロジェクト。

※5：水素ハイウェイ

福岡～北九州間において、次世代自動車として期待される燃料電池電気自動車・水素エンジン車の実証走行を可能とするため、「九州大学水素ステーション（福岡市西区元岡，九州大学伊都キャンパス内）」「北九州水素ステーション（北九州市八幡東区東田）」を整備。

「水素・燃料電池実証プロジェクト（JHFCプロジェクト）」と連携して、水素供給並びに普及啓発活動を実施。

国等と連携して、将来的には、東京への延伸を目指す。